

給食通信

3月



～窒息事故を防ぐ～

全国では、毎年 20 人前後の乳幼児が窒息事故で亡くなっています。原因は様々ですが、食事時の窒息事故は多く、注意しなければなりません。楽しい食事ができるよう、改めて事故予防に努めましょう。

1、窒息の原因食品

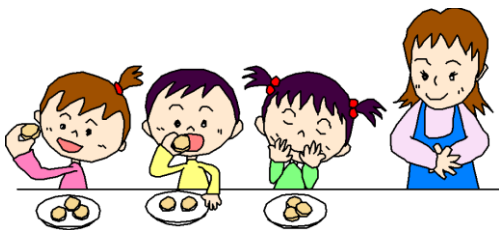
窒息の原因食品として、もちやあめ、団子、カップゼリーなどが印象に強いと思います。しかし、厚生労働省の原因分析によると、米飯、パン、魚介類、肉類、果実等、様々な食品が原因となっていることがわかっています。食品そのものの種類ではなく、全ての食品に対して注意が必要です。



※特に丸い形の団子のようにスルッと喉の奥に入りやすい形の物や、こんにゃくのように弾力があり噛み切れない食品は、子どもの成長に応じて切って食べさせるようにしましょう。

2、窒息を防ぐポイント

① 一人で食事をさせないようにしましょう



誰かがそばにいて、注意して、見守るようにしましょう

家で楽しくおやつを食べる時間などは、特に注意が不足しがちです。安心・安全で、楽しく食事をしましょう！



ナフス株式会社

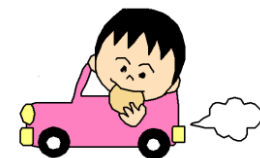
2018.3

② 食事中びっくりさせない



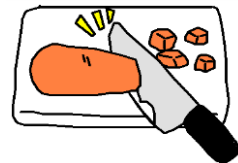
穏やかな環境作りを心掛ける

③ 乗り物の中では食べさせない



急停止や揺れたりして危険

④ よく噛んで食べさせる



噛みやすい大きさに切る

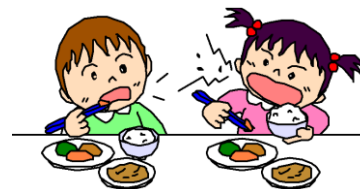


よく噛むことを促す



急がせない

⑤ 食事をするときのルールを守る



食べ物を口に入れたままの会話



テレビを見ながら



寝転びながら

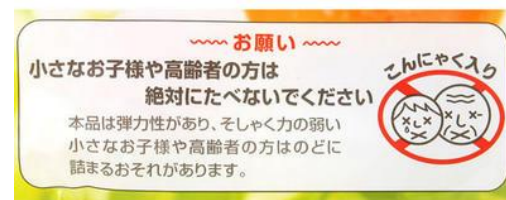


遊びながら



歩きながら

⑥ のどに詰まらせる恐れのある食品は避ける



※警告マークが表記されている食品などは食べさせない